

礼文島ハイキング

【報告者】O原

【日時】2017年6月23日（金） 【天候】晴れ

【参加者】O原

《コースタイム》

礼文荘 0104--浜中バス停 0121--スコトン岬 0225--ゴロタ岬 0324--0450 澄海岬

澄海岬（朝食・空撮） 0516--アナム岩展望地 0712--ウエンナイ休憩所 0737--

ウエンナイ分岐 0816--礼文滝分岐 0858--レブンウスユキソウ群生地 0916--

礼文林道元地口 0936--桃岩展望所 0954--元地灯台 1024--知床バス停 1046

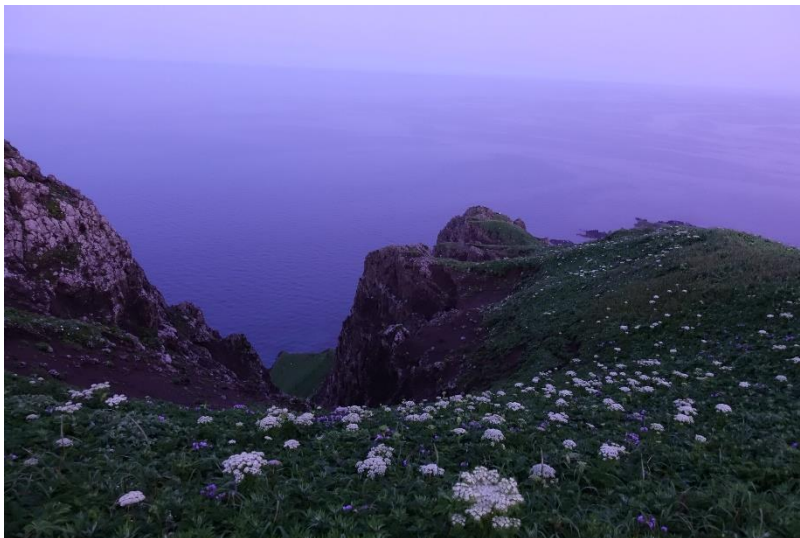
《 報 告 》

梅雨からランナウエエイ〜♪・・・で、花の島礼文島へ！一年を通じて一番美しい今時期の礼文島でお花見山行（ウニ井山行）を計画しました。

滞在するのは4日間であったが正味、歩いたのはこの一日のみ。礼文島を縦断してやろうと【岬巡りコース】【愛とロマンの8時間コース】【礼文林道コース】【桃岩展望コース】を繋いでのお花見ハイキングを画策。

滞在している民宿礼文荘を午前1時に出発して車道を2時間半歩き、最北のスコトン岬に至る。スコトンでトイレを済ませてからイザ遊歩道へ！出だしのゴロタ岬までは腰高までの藪が結構うるさい。早朝（日の出前）なだけあり朝露で濡れている。レインウェアを着こまないとズブヌレ必至である。

ゴロタ岬まではお花はさほどでもないが・・・この岬以降セリ科の白い花を中心に様々な花が咲き乱れる素晴らしハイキングコースとなる。



澄海岬で朝食&小休止していたところ、突然として漁港からの一斉放送が流れ、それと同時に複数の漁船が疾走する光景に出くわす。放送内容を聞くに制限時間付きのウニ漁のようである。操業時間1時間の厳守、採っても良いウニの大きさ

など・・・細かな指示が飛んでいる。このように早朝に水揚げしたウニが昼には井として提供されている。そりゃ美味しいはずである。

岬めぐりから8時間コースへ。お花畑から笹林、広葉樹林～沢沿い～ちょっとした岩場、最後は海岸岩場歩きと変化に富んだルート。お花はそれほどではないが歩き好きにとっては退屈しないルートであった。

8時間コース終点・・・ウエンナイ集落分岐から林道コースへ。コース名らしくまさに林道。途中数台の車と出くわす。礼文大滝を見に行く車かな？ルート後半レブンアツモリソウ群生地では本命のアツモリソウは時期ではなく代わりにセリ科の花々が代打でハイカーを歓待している。ここにはバイオトイレがあるので、後半心配な方はここで一服することをお勧めします。

林道を約1時間半歩いて桃岩コースへ。このコースはフィナーレにふさわしく道は観光用に素晴らしく整備されている。眺望・お花も岬めぐりに次ぐ美しさでデジカメ出しっぱなしでした。最後は知床バス停で老夫婦とタクシー相乗りでフェリーターミナルに至る。もちろん・・・下山後はウニ丼&ホッケのチャンチャン焼、宗八カレイの一夜干し、生ビール&シソ焼酎鍛高譚で祝杯。なんにかも大満足の楽しい山行でした。次回はスタートの礼文荘まで歩いてまると全島一周かな？

